

ツアー番号
LKGEY9WQ9M

天国での1週間（7日間）

7日間・6泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この7日間のツアーは、プライベート車両と専属シャフェールガイドでスリランカの文化三角地帯、中央高地、南西沿岸を一つのループで結びます。空港からダンブッラとシギリヤへ向かい、ポロンナルワの古代都市とミンネリヤでの象のサファリを楽しんだ後、キャンディとヌワラエリヤ周辺の紅茶地帯へ上り、ベントタのビーチに下りてからガール砦を訪れ、出発前にコロンボ市内ツアーで締めくくります。

実させています。

ペースは急ぎ足ではなく着実で、ほとんどの日に1〜2つの主要な訪問地が予定され、到着時のホテルでの休息時間も設けられています。スリランカの考古学、紅茶栽培地、野生動物、沿岸部の幅広い最初の紹介を望み、自分でルートを計画する必要がない旅行者に適しています。



日程詳細

1日目 空港 → ダンブッラ → シギリヤ

コロンボ空港到着後、専属ドライバーガイドがお出迎えし、途中チラウに立ち寄りながらダンブッラへ向かいます。夕方には石窟寺院を見学します。



ムネスワラム寺院

チラウ近郊にある、少なくとも紀元1000年頃から存在するヒンドゥー教の重要な寺院群です。ラーマーヤナの英雄王ラーマにまつわる神話と関連があり、この地方でシヴァ神に捧げられた5つの古代寺院のひとつです。

Leon Meerson · CC BY-SA 2.0



ダンブッラ石窟寺院

「黄金寺院」として知られるダンブッラの石窟は紀元前1世紀にさかのぼり、仏陀の生涯を描いた壁画や、5つの主要な洞窟にわたる数百体の仏像・神像が安置されています。これらには「神王の洞窟」「大王の洞窟」「大新僧院」が含まれます。石窟群から少し離れた場所には、巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

2日目 シギリヤ → ポロンナルワ → ミンネリヤ → シギリヤ

この日は古代遺跡都市ポロンナルワの見学に時間を費やし、午後はミンネリヤで象を探すサファリに向かいます。



ポロンナルワ

スリランカ第2の古代首都として、10世紀から13世紀にかけて栄えました。主な遺跡にはガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮池、ランカティラカ寺院、そしてポロンナルワの黄金時代とされる治世を築いたパラークラマバーフ王に関連する像などがあります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ミンネリヤ国立公園

3時間のジープサファリで、園内の低木地帯や森林を巡ります。5月から10月にかけては「象の大集合」と呼ばれる現象が見られ、150頭以上の象が一か所に集まるほか、他の哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類も観察できます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

3日目 シギリヤ → マータレー → キャンディ

午前中はシギリヤ・ロックの登頂に時間を費やし、その後マータレー近郊のスパイスガーデンを経由してキャンディへ向かいます。夕方にはカルチャーショーを鑑賞します。



シギリヤ・ロック要塞

この5世紀の岩上要塞は、カーシャパ王の王都でした。登り道は巨大なライオンの爪を模した入口を通ります。この爪こそが「シギリヤ(ライオンの岩)」の名の由来です。色褪せぬ古代の壁画、階段状に広がる庭園、今も機能する貯水池を抜け、トンネルを通って頂上の宮殿跡へと続きます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



スパイスガーデン

スリランカのスパイスの中心地として知られるマータレー近郊のスパイス&ハーブガーデンをガイド付きで見学します。コリアンダー、チリ、シナモン、カルダモン、ナツメグなどの作物が栽培されています。ガイドが各スパイスやハーブの用途、アーユルヴェーダの理念について説明します。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



キャンディアン・カルチャーショー

1時間にわたる伝統芸能ショーで、火の踊り手や剣舞、太鼓の演奏に合わせたキャンディアン・ダンスなどが披露されます。夕方には宝石加工、木彫り、バティック染めの実演も見学できます。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

4日目 キャンディ → ヌワラエリヤ → キャンディ

丘陵地帯への日帰り旅行では、ランボダ近郊の茶園を訪れた後、ヌワラエリヤの町並みを眺め、夕方にはキャンディへ戻ります。



ランボダの茶工場

稼働中の茶園をガイド付きで見学し、発酵、揉捻、乾燥、切断、篩別、等級付けといった紅茶製造の各工程を学びます。周辺の茶畑で働く茶摘み人の様子を見学でき、最後には試飲とセイロンティーの歴史についての紹介があります。

Adbar · CC BY-SA 3.0



ランボダの滝

茶園へ向かう途中に見られる、スリランカで11番目に高い滝です。

A.Savin · FAL



ヌワラエリヤ

この高原の町は、19世紀から20世紀初頭にかけてイギリス人の代表的な避暑地として栄えました。当時の街並みには、コテージや別荘、邸宅が残るほか、赤レンガ造りの古い郵便局、クイーンズ・ヴィクトリア公園やグレゴリー湖といった緑地が広がっています。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

5日目 キャンディ → ベントータ

キャンディを出発して海岸地方へ向かう前に、午前中は市内で最も重要な仏教聖地を訪れます。



仏歯寺（スリ・ダラダ・マーリガーワ）

このユネスコ世界遺産は、仏陀の聖なる歯の遺物を納め、守護するために16世紀に建てられました。通路や堂内は赤、クリーム色、黒で彩られ、彫刻の施された柱や黄金の仏像が見られます。

A.Savin · FAL

6日目 ベントータ → ガッレ → ベントータ

午前中はビーチでの自由時間を楽しみ、午後はウミガメの保護施設と古い要塞都市ガッレを訪れます。



コスゴダ・タートル・ハッチェリー

南西海岸に位置するこの保護施設では、スリランカの海岸に産卵のために上陸する5種類の絶滅危惧種のウミガメの卵を保護し、幼体の生存率向上に努めています。訪問者は保護下にある子ガメや負傷した成体のウミガメを見学でき、場合によっては触れたり餌を与えたりすることもできます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ガッレ要塞

ポルトガルおよびオランダ統治時代に築かれた、アジアで最も保存状態の良い要塞のひとつです。要塞内には博物館や灯台、オランダ統治時代の名前が残る石畳の通りがあります。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

7日目 ベントータ → コロンボ → 空港

最終日はコロンボの市内観光とショッピングを楽しんだ後、空港へ移動し出発となります。



コロンボ市内観光

首都の歴史的名所を巡る観光で、旧灯台、旧国会議事堂、ゴール・フェイス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、国立博物館などを訪れます。また、インディペンデンス・スクエアやレースコース地区、さまざまなブティックやデザイナーズショップでのショッピングもお楽しみいただけます。

Gihanud2001 · CC0

含まれるもの

含む

- Private Transport with airport transfers in an Air-Conditioned Vehicle throughout the tour. (2010 and Above Manufactured)
- Service of an English-Speaking Chauffer Guide.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance Fees.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.
- Tips & Portages.

Lakpura® · 料金・オプション・ご予約： www.lakpura.com/ja/products/week-in-paradise-7-days
hello@lakpura.com · +94 11 574 7474